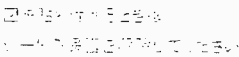


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

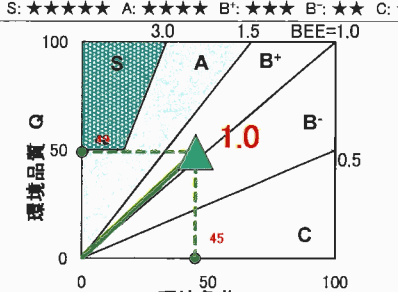
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	経ヶ岬分屯基地 隊庁舎	階数	地上3F
建設地	京都府京丹後市	構造	RC造
用途地域	無指定	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所, 集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年9月 0.0	評価の実施日	2015年11月30日
敷地面積	37,802 m ²	作成者	高沖 雄仁
建築面積	1,281 m ²	確認日	2015年11月30日
延床面積	3,851 m ²	確認者	〇〇〇

外観パース等


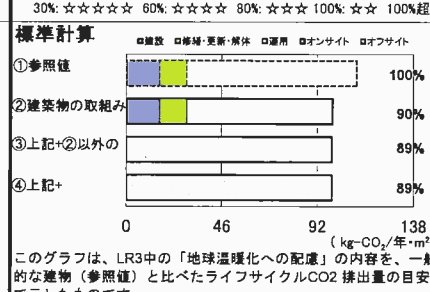
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

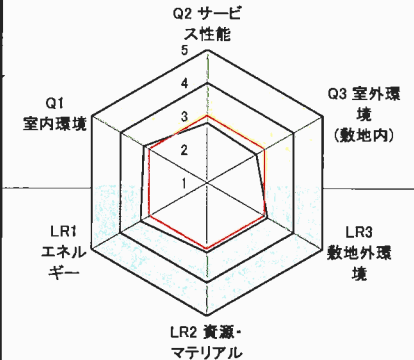


2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算



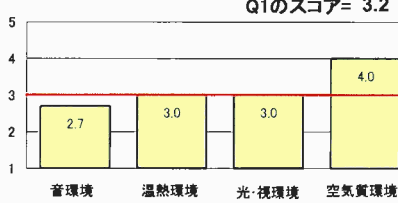
2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)



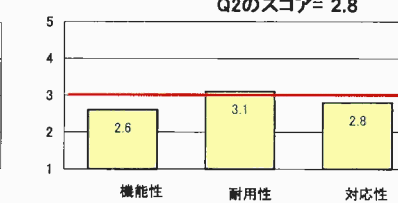
2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

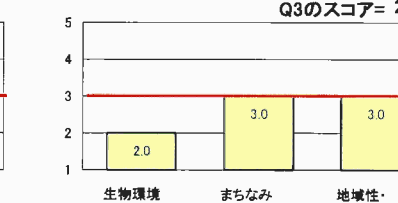
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2



Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

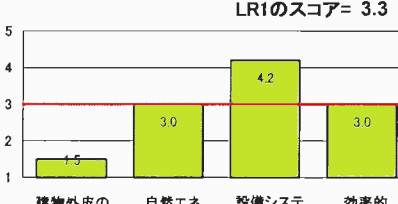


Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.7

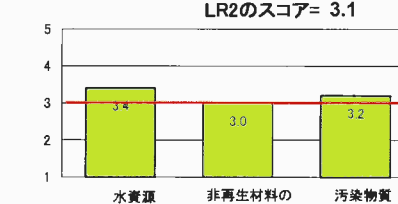


LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

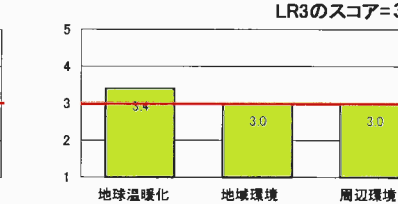
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3



LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1



LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1



3 設計上の配慮事項		
総合		
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。		
替えによる環境負荷の改善と効率化をおこなう。		
その他		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価しにくい環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
・廊下と居室の間の壁はボード二重貼りとグラスウールを充填し、遮音性を確保する。	・娛樂室を設け、居住者のリフレッシュを考慮。	・新設する建築物を既存の建築物の高さ以下にすることで景観に配慮。
・居室について	・居室部分を可能な限り乾式工法とし、将来の改修しやす	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
・設備機器は高効率機器を採用。	・有害物質を含まない材料を使用。	・近隣に住宅がすくない敷地を設定。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される